

あり同三時協議會に移つて第一日  
の日程を終り、同五時半金山聯盟  
會長の招宴に臨んだ、引續き十四  
日朝九時から大阪中央公會堂で總  
會開催、午前は部會午後總會に入  
り司法省諮詢に對する次の答申案  
を議決した  
司法保護の大衆化のために講演  
會映畫會を開催すること、大都  
市に司法保護會館を建設し資料  
を展示すること、毎年九月十三  
日を中心と司法保護強調週間を  
四月十七日を少年保護記念日と  
するほか十一月二十日に司法保  
護觀察法實施記念日とすること  
の他、この方策を實踐のため  
一般保護事業の制度化▽保安處  
分制度の實施▽少年保護事業の  
全國的普及▽保護觀察所の機構  
擴充を必要と認む  
終つて金山會長の發聲で萬歳を三  
唱して閉會したが十五日には聯盟  
員が揃つて電氣科學館、美術館、  
市民館、共同宿泊所および府社會  
の日程を終り、同五時半金山聯盟  
會等の見學をした

## 公益質屋で生業資金貸付

大衆の金融機關として廣くなぢま  
れてゐる公益質屋が貸付限度を擴  
大して物資動員による失業者の轉  
業資金にも利用されることになつ  
た、從來公益質屋の生業資金貸付  
は一口五十圓、一世帯三百圓まで  
に限られてゐたが、今回これを擴  
充して一口百圓、一世帯五百圓ま  
でとなり同時に利率も月一分二厘  
程度からさらずに引下を行ひ擔保物  
の範圍も擴張して從來扱はれなか  
つた商品のストックや作業器具機  
械等へば屋臺店の車なども扱ふこと  
となり、また流質期間も六ヶ月  
から九ヶ月に延長されるなどあく  
まで利用者保護の建前となつてゐ  
る

大藏、商工兩省などで行つてゐ  
る中小工業者轉業の資金は擔保



第六回

る【寫眞はその會場】

あり同三時協議會に移つて第一日の日程を終り、同五時半金山聯盟會長の招宴に臨んだ、引續き十四日朝九時から大阪中央公會堂で總會開催、午前は部會午後總會に入り司法省諮詢に對する次の答申案を議決した

司法保護の大衆化のために講演會映畫會を開催すること、大都市に司法保護會館を建設し資料を展示すること、毎年九月十三日を中心にして強調週間を四月十七日を少年保護記念日とするほか十一月二十日に司法保護觀察法實施記念日とする

其他で、この方策を實踐のため一般保護事業の制度化▽保安處分制度の實施▽少年保護事業の全國的普及▽保護觀察所の機構擴充を必要と認む

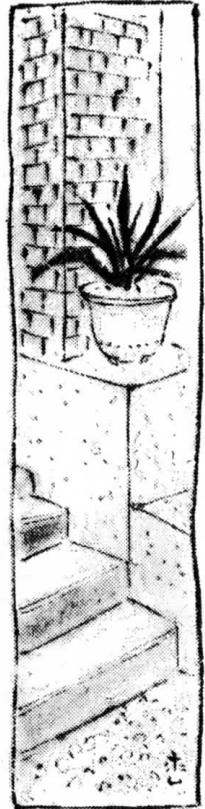
終つて金山會長の發聲で萬歳を三唱して閉會したが十五日には聯盟員が揃つて電氣科學館、美術館、市民館、共同宿泊所および府社會

廣田町改良住宅完成

**廣田町改良住宅完成**

大阪市が不良住宅改良事業として浪速區廣田町の密集街を整理し建設中であつた廣田町改良良住宅百三十六戸がこのほど竣工したので十  
月十四日廣田神社宮司により清祓式を行つたが元居住者百數十世帯はちかく割當の決定をまつて二年ぶりに懷しの土地へ歸ることになつた、同地區は低濕な土地に狭い通路のほか殆ど空地がなく三四十  
年も經つた古家が密集して衛生、新住宅は木造瓦葺二階建十九棟百三十六戸で階上階下を別世帯としたアパート式、居間は六畳三疊二間続きが標準で、便所、上下水道あり通風、採光など住宅衛生には特に留意されさらに親切な附帶施設として特殊作業場や焼却場を敷設し元住居者中風紀保安上全く憂慮すべき悪態であつたがこれに盛土、植樹、道路擴張が行はれ整然として新住宅が建ち並んだので面目一新的感がある。

大阪厚生情報



全日本司法保護聯盟顧問の小原元法相、森山行刑局保謹課長、松井輔成會副會長、谷中防司令官、安住大阪海軍人事部長、池田大阪府知事、坂間大阪市長、内務、厚生兩大臣代理、各裁判堂で開催された

關西司法保護事業聯盟の發會

關西司法保護事業聯盟の發會

上野大朝社長、奥村大毎社長（代理）の祝辭ののち休憩、午後一時半から京大教授黒正博士の講演が

## 阿倍野保健所落成

## 開所記念に保健展

大阪市保健部では厚生省の指示と補助を受け市内に五ヶ所の保健所を建設することになつてをり、そ

のトップとして住吉區阪南町東三丁目に阿倍野保健所が竣工し十月二十

五日落成式を行つたが二十六日から三十一まで保健展覽會を催し十一月一日から開所する

木造二階建延百八十坪、一般、結核、花柳病、トロボーム、母子に分れて五つの診察室兼指導室を持ちほかにエッキス光線室、測定室、榮養指導室などを完備しいやしくも保健衛生に關することはなんでも市民の相談に應する、料金はすべて無料だが年收八百圓以上の家庭のものはエッキス光線寫眞その他試験検査の實費を負擔することになつてゐる

なほ續いて生野、中津、姫島の三

厚生省側から熊谷失業對策部

長、引田轉職課長、武島社會局

福利課長、府縣側から大阪、京

都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山、

島根、鳥取、廣島、岡山、香

川、徳島、愛媛、高知の近畿、中

四國にわたる十四府縣の學

務部長または社會課長、職業課

長ら關係者約八十名が出席

失業對策諸施設について打合せを行つた、主なる議案は左の通り

一、失業對策豫算實施に關する件

(轉業輔導施設、授産および轉職施設、生業援護)

二、預金部資金融通の件(遠隔地

事業會館において開催、左の通り

主催による要保護少年展覽會は十

月五日から十一日まで一週間社會

事業會館において開催、左の通り

保護少年に關する多數の參考品が

出陳され一般の注視をあつめたが

忠烈の勇士として奮戰してゐる嘗

ての保護少年の戰線便りなどが陳

列され、折柄の銃後援強化週間

に一層の意義付けをした

(一) 皇室と少年保護

日本民族衛生協會大阪支部會主催

の講演と映畫の會は貴族院議員下

村宏氏(題日本民族發展の要諦)、

京大教授駒井卓氏(題人類遺傳の常識)、阪大教授古武彌四郎氏(題國民の榮養と蛋白質)ら三講師を招き十一月一日夕六時から大阪朝日會館公演場で開かれる

## 要保護少年展覽會

(三) 不良の現状

保健所は來年度に建設されることになつてゐる

厚生省主催の失業對策事務地方別打合會議は十月十五日午前九時から大阪大手前知事別館で開かれ

打合會議は十月十五日午前九時から大阪大手前知事別館で開かれ

秋の農繁期をひかへて府では農村

基づき町村または婦人會、處女

会、寺院など各種團體を主體に小

学校、神社、寺院、教會、公會堂

征將士の家族を中心仕事中、足

手まとひになる乳幼兒を無料で預

かるもので、現在百ヶ所近く設置

されてゐるが、時局の緊迫とともに

今後はすくなくとも三百ヶ所を

目標に積極的運動を開始することとなつた

就職者保護資金、資金繰替の件  
生業資金の件)

## 銃後農繁期託兒所

三百を目標に擴充計る

で開設することになり各市區町村

長宛開牒開設を勧奨した、この託

兒所はあくまで隣保相扶の精神に

基づき町村または婦人會、處女

会、寺院など各種團體を主體に小

学校、神社、寺院、教會、公會堂

征將士の家族を中心仕事中、足

手まとひになる乳幼兒を無料で預

かるもので、現在百ヶ所近く設置

されてゐるが、時局の緊迫とともに

今後はすくなくとも三百ヶ所を

目標に積極的運動を開始することとなつた

## 御尊影筐を贈る

全國の少年保護所へ

全國の少年保護所にいままで御尊影

筐影筐の備へてない向きがあるの

を遺憾に思つた大阪市港區市岡元

町五丁目桃谷順一、南區木戸吉橋一

丁目奥田秀太郎、東成區中道一丁

第八回全國視力保存デーは十月十日午後一時から無料検眼デーとし、眼に關する諸種の相談、診斷を無料で行つた、檢眼の病院は左のとほり

阪大附屬病院眼科、濟生會中津病院、同堺病院、同港病院、同今宮病院

院、北野病院、堺市民病院、信貴山成福院、積徳會醫院、その他日本眼科醫師會加盟の府下各眼科病院

この催しを意義あらしめるため、

大府並に府臨時盲人福祉委員部では

保健所は來年三月までに西區西六

打合會議は十月十五日午前九時から大阪大手前知事別館で開かれ

秋の農繁期をひかへて府では農村

基づき町村または婦人會、處女

会、寺院など各種團體を主體に小

学校、神社、寺院、教會、公會堂

征將士の家族を中心仕事中、足

手まとひになる乳幼兒を無料で預

かるもので、現在百ヶ所近く設置

されてゐるが、時局の緊迫とともに

今後はすくなくとも三百ヶ所を

目標に積極的運動を開始することとなつた

## 第八回全國視力保存デー

昭和十二年度刑事未成年者犯罪事件取扱人員表、昭和十二年度不良團體檢舉年齡行爲別調、少年犯罪送致處分別調(昭和十年より同十二年度)、少年犯罪處

分調結果一覽表(自昭和三年至昭和十二年)、ほか多數

年犯罪送致處分別調(昭和十年より同十二年度)、少年犯罪處

分調結果一覽表(自昭和三年至昭和十二年)、ほか多數

## 社會事業研究

(毎月一回一日發行)

## 本號寄稿者

永井亨氏、經濟學博士、山口正氏、大谷大學教授、古屋美貞氏、關西學院教授、牧貢一氏、東京市社會局勤務、原梅三郎氏、德島縣立農業高等學校教授、神戶日伯協會主事、濱田光雄氏、大朝社會事業團主事、三田谷啓氏、三田谷治療教育院院長、中村三徳氏、大毎記念中村塾主、原忠明氏、臺灣總督府社會課、黒田誠治氏、阪大醫學部弘仁會員、岡田文秀氏、傷兵保護

## 發行所

大阪府社會事業聯盟

## 電話

五五一五番

## 二四番地

大阪市北區瀬崎町一八番地

## 印刷所

大阪市天王寺區伶人町

## 出版

大阪市北區瀬崎町一八番地

## 編輯兼

大阪市北區瀬崎町一八番地

## 印刷人

大阪市北區瀬崎町一八番地

## 大坂

大阪市北區瀬崎町一八番地

## 出版

大阪市北區瀬崎町一八番地

## 大坂

大阪市北區瀬崎町一八番地

# 社會事業研究 十一月號目次

## 戰時の失業問題 永井亨

日本社會事業の特殊性 山口正一

全體主義經濟學と社會事業 古屋美貞 六  
戰時下に於ける社會事業觀念の轉換 牧賢一 三  
換に就て

社會行政に於ける補助機關に就て 齋藤紫郎 三  
の若干の考察

伊太利に於ける厚生運動 山本高雄 言  
在伯同胞の近況 原梅三郎 三  
在伯同胞の近況 原梅三郎 三

少 年 を 訪 ね て 濱田光雄 呉

社會事業とマツサージ 三田谷啓 五  
幼少年の體位向上に就て 中村三徳 一〇三

保甲制度の沿革及び其の目的 原忠明 吾  
學生生活調査 黒田誠治 五

傷兵保護事業について 岡田文秀 九

## 報情生厚阪大

廣田町改良住宅完成	二六
關西司法保護事業聯盟の發會	二六
公益質屋で生業資金貸付	二七
乳幼兒審查會	二八
阿倍野保健所落成	二八
失業對策地方別合會	二九
銃後農繁期託兒所	二九
第八回視力保存デー	二九
御贊影鑑を贈る	二九
民族衛生講演會	二九
要保護少年展覽會	二九